

保証書別添付

本機に関する基本的な内容については、付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」を参照してください。本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法については以下のパナソニックサポートウェブサイト内（取扱説明書掲載ページ）の「取扱説明書 操作・設定編」を参照してください。

[https://sol.panasonic.biz/security/support/manual\\_dl\\_j.html](https://sol.panasonic.biz/security/support/manual_dl_j.html)

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に付属の「ご使用の前に」の「安全上の注意」（13～16ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

## パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2019

Ns0418-1109 PGQX2244YA Printed in China

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されることにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負いません。  
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリー ダイヤル 0120-878-410 受付：9時～17時30分  
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。  
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いたします。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口へご連絡ください。

## 故障かな!?

修理を依頼される前に、CD-ROM内の取扱説明書 基本編、パナソニックサポートウェブサイト内の取扱説明書 操作・設定編の「故障かな!？」で症状を確かめてください。

## オープンソースソフトウェアについて

- 本製品にはGNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアが含まれています。
- お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変できます。
- オープンソースソフトウェアのライセンスやソースコードに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「はじめにお読みください」(Readme.txt)をお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

## 保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	電 話 ( ) -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」（付属CD-ROM内の取扱説明書 基本編）でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- 製品名 ネットワークカメラ
- 品番 WV-S1550LNJ
- 故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間[7年]

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

## 取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下のよう構成になっています。

- 取扱説明書 設置編（本書）：設置手順、取り付け、各ケーブルの接続と画角の調整について記載しています。
- 取扱説明書 基本編（CD-ROM内）：本機に関する基本的な内容（設置上のお願い、各部の名前など）を記載しています。
- 取扱説明書 操作・設定編（パナソニックサポートウェブサイト内）：本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法について記載しています。

メモ

- 製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。
- 本書内で使用している「<管理番号：Cxxxx>」は、パナソニックサポートウェブサイト内で検索時に使用していただき、該当する情報へご案内するための番号です。

## 付属品をご確認ください

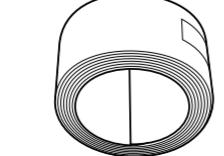
取扱説明書 設置編（本書）.....1式 CD-ROM \*1 .....1枚  
ご使用の前に .....1冊 コードラベル \*2 .....1枚  
保証書 .....1式

\*1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。  
\*2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。紛失しないようにご注意ください。

以下の部品は取付工事に使用します。

カメラ取付台カバー .....2個 4Pアラームケーブル .....1本  
カメラ取付台カバー固定ねじ（M3×6 mm） .....3本 2P電源ケーブル .....1本  
(うち1本は予備ねじ)  
落下防止ワイヤー .....1本 落下防止ワイヤー取付金具 .....1個  
防水テープ .....1個 ワイヤー取付金具固定ねじ .....2本  
RJ45防水コネクターカバー .....1個 (M3×10 mm スプリングワッシャー付き、うち1本は予備ねじ)  
RJ45防水コネクターキャップ .....1個  
親水コートラベル .....1枚

防水テープ



## 設置の前に

### 付属品以外に必要なもの

それぞれの工事に必要なものを前もって準備しておく必要があります。

取付方法	推奨ねじ	取付方法の説明
カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合 *1	M5／4本	【タイプ1】
スイッチボックスなどに取り付ける場合 *1 ※必ず金属製のスイッチボックスをご使用ください。	M4／4本 *2	【タイプ2】
WV-Q120A（カメラ取付金具：約510 g 別売り）を使って天井または壁面に取り付ける場合 *1 *3	M5／4本	【タイプ3】
WV-Q188（ポール取付金具：約1.2 kg 別売り）またはWV-Q189（コーナー取付金具：約1.3 kg 別売り）を使ってポールや建物の壁面コーナーに取り付ける場合 *3	M5／4本	各金具の取扱説明書参照

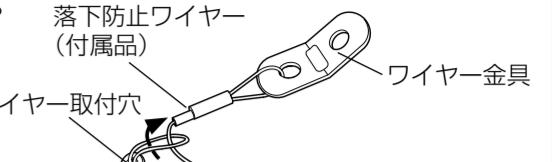
\*1 本機を天井または壁面に取り付けるときは、必ず落下防止ワイヤー（付属品）を取り付ける必要があります。落下防止ワイヤー固定用にM6のボルトナットまたはアンカーボルト（最低引抜強度724 N (74 kgf)）を準備してください。

\*2 外径の7.5～Φ10 mmの平ワッシャー付きかつスプリングワッシャー付きM4ねじをご用意ください。

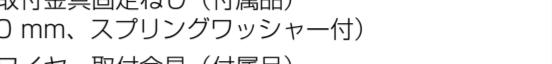
\*3 本機をWV-Q120A、WV-Q188、WV-Q189に固定するねじ4本（M5）はそれぞれの金具に付属されています。取り付け方法は、それぞれの金具の取扱説明書を参照してください。

### カメラの準備をする

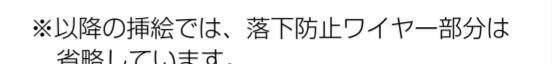
【1】落下防止ワイヤーを取り付ける。



※以降の挿絵では、落下防止ワイヤー部分は省略しています。



【2】フロントカバーを取り外す。

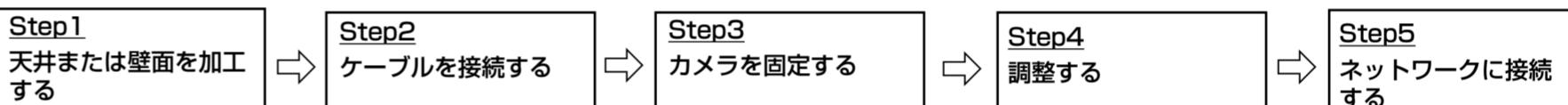


【3】カメラアームユニットに付いている青い保護テープを取り外す。



## 設置する

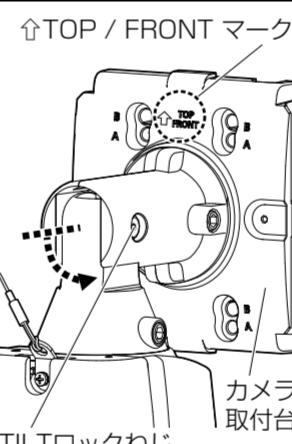
設置工事を5ステップで説明します。



●カメラを取り外す際は設置時と逆の手順で撤去作業を実施してください。

### Step1 天井または壁面を加工する ※カメラの固定方法は3通りあります

【共通】TILTロックねじを対辺5 mmの六角レンチ（別途調達）を使って1回転ほど緩め、カメラを下に向かたあとに仮締めする。

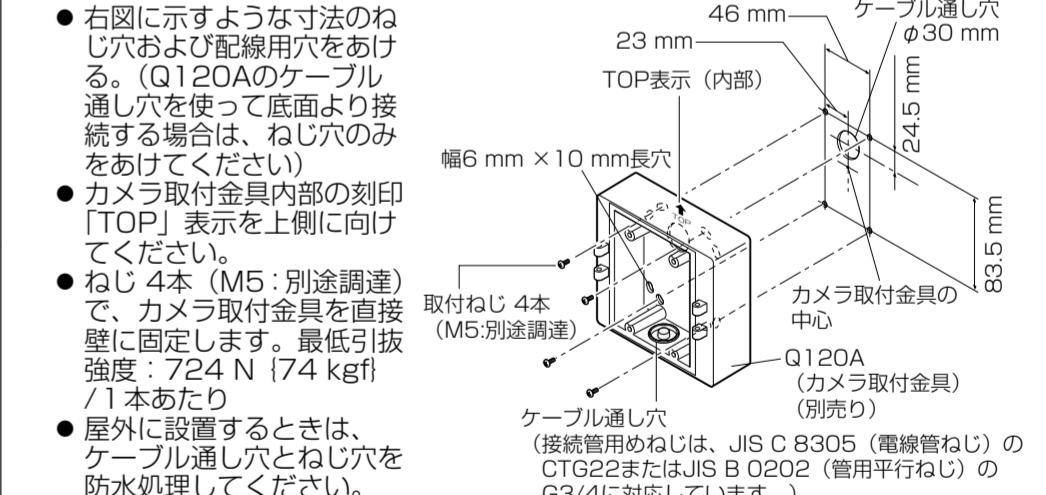


【タイプ3】WV-Q120A（カメラ取付金具）（別売り）を使って天井または壁面に取り付ける場合

（WV-Q120Aについて以下Q120Aと省略しています。）

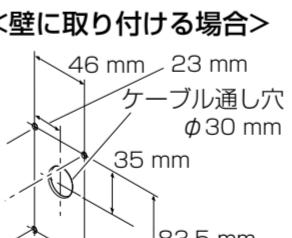
※壁面に取り付ける場合を例に説明します。

①カメラ取付金具を壁面に固定する。



【タイプ1】カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合

カメラを天井または壁面に取り付ける位置を決め、右図に示すような固定用と配線接続用の穴を開ける。



※穴径および深さは固定用のねじまたはアンカー（4本）（M5：別途調達）の仕様に合わせて決めてください。

【タイプ2】スイッチボックスなどに取り付ける場合

天井または壁面を加工する作業はありません。



【タイプ3】スイッチボックスなどに取り付ける場合

天井または壁面を加工する作業はありません。



【タイプ3】WV-Q120A（カメラ取付金具）（別売り）を使って天井または壁面に取り付ける場合

（WV-Q120Aについて以下Q120Aと省略しています。）

※壁面に取り付ける場合を例に説明します。

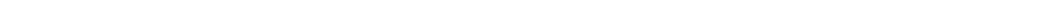
①カメラ取付金具を壁面に固定する。



●取付ねじ（M4×35 mm: Q120A付属品）を使って、カメラ取付金具の左・右どちらかのヒンジ部にカメラ取付台を仮取り付けし、開閉できるようにします。



●カメラ取付台の「TOP / FRONT」マークが上向きになるように固定してください。



●左右どちらか近くに壁がある場合は、壁の反対側のヒンジ部に取り付けてください。



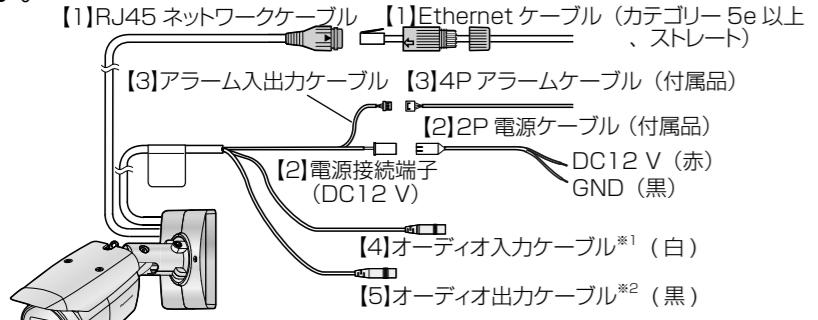
●カメラ取付台はカメラ取付金具のヒンジ部への締付トルクで固定してください。



推奨締付トルク : 0.78 N·m (8 kgf·cm)

## Step2 ケーブルを接続する

■ 各ケーブルの使用条件は付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」をお読みください。



\*1 ステレオミニプラグを使用してください。

\*2 オーディオ出力として使用する場合はステレオミニプラグを、モニター出力として使用する場合はモノラルミニプラグを使用してください。

### 重要

● 設置作業中に電源が入らないようにシステムの電源 (PoE) ハブやカメラに給電する装置の電源などを切離しておいてください。

● DC12 V 電源はAC100 Vに対して絶縁されたものを使用してください。

### [1] RJ45ネットワークケーブルとEthernetケーブルを接続する。

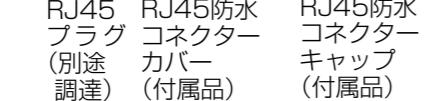
①EthernetケーブルにRJ45防水コネクターカップ (付属品)、RJ45防水コネクターカバー (付属品) の順に通し、専用工具 (別途調達) で、先端にRJ45プラグ (別途調達) をかしめます。

● RJ45防水コネクターカバー内部のゴムは外さないように注意してください。

②RJ45プラグをカメラ側のRJ45防水ジャックに差し込みます。

③RJ45防水コネクターカバーをRJ45防水ジャックに差し込み、「△」マークが合つまで回転させます。

④RJ45防水コネクターカップをRJ45防水コネクターカバーとの隙間がなくなるまで回転させて固定します。



### [4] 必要な場合はオーディオ入力ケーブルとマイクまたは外部音声ラインを接続する。

### [5] 必要な場合はオーディオ出力ケーブルとアンプ内蔵の外部スピーカーを接続する。

#### メモ

● お買い上げ時は、外部I/O端子は「Off」に設定されています。外部I/O端子の設定については、パナソニックサポートウェブサイト内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

### [6] 露出配線でカメラを設置する場合はケーブルの防水処理をする。

カメラ本体、RJ45防水コネクターは防水ですが、ケーブル端、WV-Q120A (カメラ取付金具) 内部は防水対応ではありません。Ethernetケーブル以外のケーブルを使用する場合、各ケーブルの接続部は使用しないケーブルもあわせて以下のように防水処理をしてください。

#### <Ethernetケーブル以外のケーブルの防水処理方法>

防水テープ (付属品) を使用し、右のようにして防水処理をしてください。

#### 重要

● テープを約2倍の長さに引き延ばし (右図参照)、ケーブルの周りに巻きつけてください。テープを十分に引き延ばさないと、十分な防水性が得られません。

## Step4 調整する

[1] カメラ本体の向きを下向きからカメラが正面に見える向きに変更して仮固定する。

[2] カメラ本体のMONITOR OUT端子にピンケーブル (別途調達) を取り付け、調整用モニターを接続する。

[3] 必要な場合はSDメモリーカードを挿入する。

● SDメモリーカードの取り付け・取り外しについては付属CD-ROM内の「取扱説明書 基本編」をお読みください。

[4] カメラの電源を入れる。

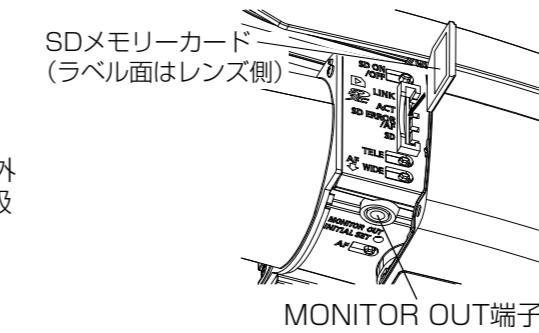
[5] カメラの向きを調整する。

① カメラアームユニット根元のPANロックねじを、対辺5 mmの六角レンチ (別途調達) を使って緩めます。カメラを左に向かいたいときは正面から見て時計回り (+) に、右に向かいたいときは反時計回り (-) に回転させます。(水平 (PAN) 角: ±180°)

② カメラアームユニット中央部にあるTILTロックねじを、対辺5 mmの六角レンチ (別途調達) を使って緩め、おおよその向きを合わせます。(垂直 (TILT) 角: 0° ~ 100°)

③ カメラが動かない程度にPANロックねじとTILTロックねじを締めます。

④ YAWロックねじを、対辺5 mmの六角レンチ (別途調達) を使って緩め、カメラ本体を回転させて、カメラの傾きを調整します。(傾き (YAW) 角: -190° ~ +100°)

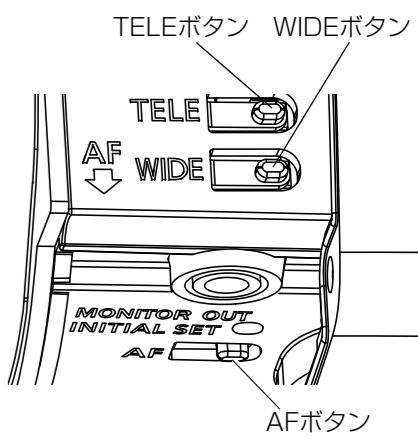


### [6] ズームとフォーカスを調整する。

① 右図を参照し、WIDEボタンまたはTELEボタンを押して目的の画角 (視野角) に動かします。

② AFボタンを押してフォーカスを合わせます。

③ 画面の大きさとフォーカスが合うまで①~②を繰り返します。必要な場合は水平 (PAN) 角、垂直 (TILT) 角、傾き (YAW) 角でカメラアングルを再調整します。



### [7] 各部のロックねじを締めて固定する。

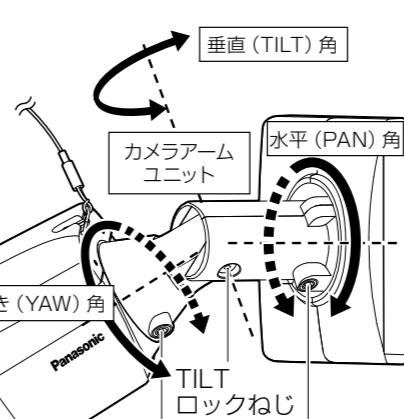
[5] ~ [6] を繰り返しながらカメラアングルと画角を調整し、最後に各部のロックねじを締めて固定します。

#### 推奨締付トルク

PANロックねじ: 2.7 N · m {27.5 kgf · cm}

TILTロックねじ: 9.0 N · m {91.8 kgf · cm}

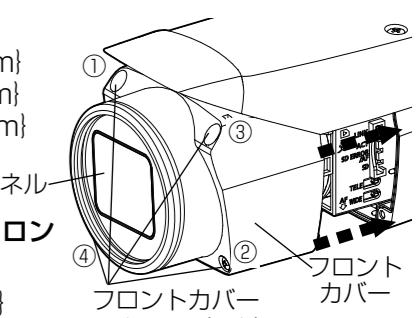
YAWロックねじ: 2.7 N · m {27.5 kgf · cm}



### [8] ピンケーブルを取り外す。

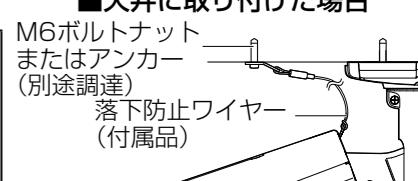
フロントパネルとフロントカバーフィルムを分離する。フロントカバーフィルムを外す。フロントカバーフィルムを外す。

※ フロントカバーフィルムを外す場合は、右図のように対角線の順番で締めてください。



### [10] 落下防止ワイヤー (付属品) を天井または壁面に固定する。

#### ■ 天井に取り付けた場合



M6ボルトナットまたはアンカー (別途調達) 落下防止ワイヤー (付属品)

#### ■ 壁面に取り付けた場合



M6ボルトナットまたはアンカー (別途調達) 落下防止ワイヤー (付属品)

## Step3 カメラを固定する \*カメラの固定方法は3通りあります

### 【タイプ1】カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合

①上側のねじ 2本 (M5 : 別途調達) でカメラを固定する。

※ 最低引抜強度 724 N {74 kgf}

/ 1本あたり

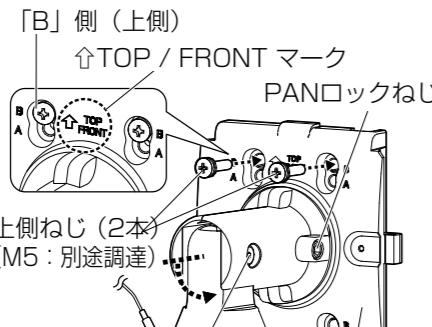
カメラ取付台「B」側の穴で固定してください。

#### メモ

● 壁面に取り付ける場合、カメラ取付台の「↑TOP / FRONT」マークが上向きになるように設置してください。

● 天井に取り付ける場合は、カメラを向ける方向に「↑TOP / FRONT」マークが向くように設置してください。

● ケーブル類を側面に配線する場合、カメラ取付台の側面ケーブル通し穴 (手順②の鉛筆参照) から配線を引き出してください。



② PANロックねじを1回転ほど緩めカメラを上に向けたあとに仮止めし、下側のねじ 2本 (M5 : 別途調達) でカメラを固定する。

※ 最低引抜強度 724 N {74 kgf} / 1本あたり

カメラ取付台「B」側の穴で固定してください。

③ カメラを下に向け、カメラ取付台カバー (付属品) をカメラ取付台カバー固定ねじ 2本 (M3×6 mm, 付属品) でカメラ取付台に固定する。

推奨締付トルク: 0.59 N · m {6 kgf · cm}

#### メモ

● ケーブル類を側面に配線する場合、カメラ取付台カバーの側面ケーブル通し穴をニッパー等で切り取ってケーブルを通してください。

● けが防止およびケーブル保護のため、側面ケーブル通し穴はエッジにならないようにヤスリなどで仕上げてください。

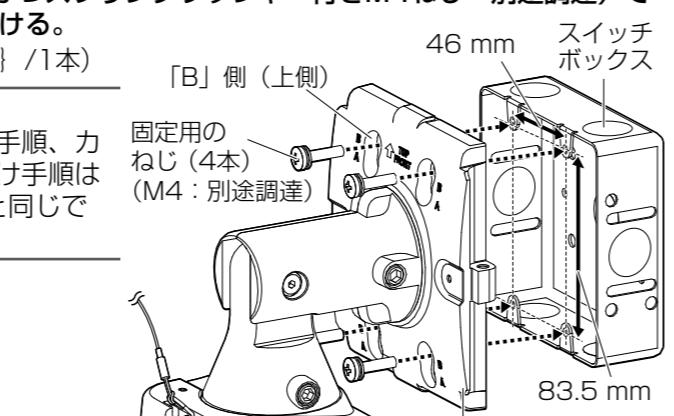
### 【タイプ2】スイッチボックスなどに取り付ける場合

カメラ取付台の「B」側の穴を使って右図のように固定用のねじ 4本 (外径φ7.5~φ10 mmの平ワッシャー付きかづスプリングワッシャー付きM4ねじ : 別途調達) でスイッチボックスなどに取り付ける。

(最低引抜強度 724 N {74 kgf} / 1本)

#### メモ

● 固定用のねじでの取り付け手順、カメラ取付台カバーの取り付け手順は【タイプ1】の手順①②③と同じです。



### 【タイプ3】WV-Q120A(カメラ取付金具) (別売り) を使って天井または壁面に取り付ける場合

(WV-Q120Aについて以下Q120Aと省略しています。)

※ 壁面に取り付ける場合を例に説明します。

① 取付ねじ 4本 (M5×20 mm :

Q120A付属品) でカメラ取付台の「A」

側の穴を使い上側2本→下側2本の順

にカメラ取付台をカメラ取付金具に固

定する。

推奨締付トルク:

1.86 N · m {19 kgf · cm}

#### メモ

● 取り付け手順は【タイプ1】の手順

①②を参照してください。

② カメラを下に向け、カメラ取付台カバー

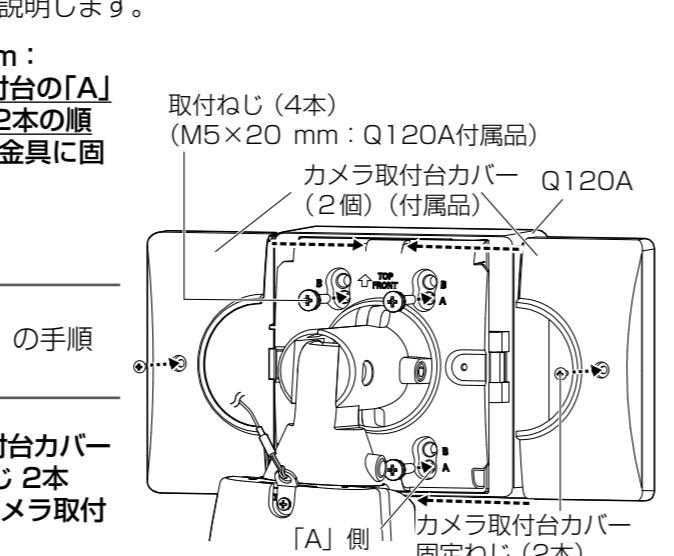
をカメラ取付台カバー固定ねじ 2本

(M3×6 mm : 付属品) でカメラ取付

台に固定する。

推奨締付トルク:

0.59 N · m {6 kgf · cm}



## Step5 ネットワークに接続する

PCのファイアウォール設定が有効になっているときは、一時的に解除してからカメラ設定を行ってください。カメラの設定が終わったら元の状態に戻してください。

ネットワークの設定を行うための情報は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにて確認ください。

### [1] 付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットする。

● 使用許諾契約が表示されますので、使用許諾契約をお読みのうえ、「使用許諾契約の条項に同意します。」を選択し、[OK] をクリックします。



### [2] IP簡単設定ソフトウェアの「起動」をクリックする。

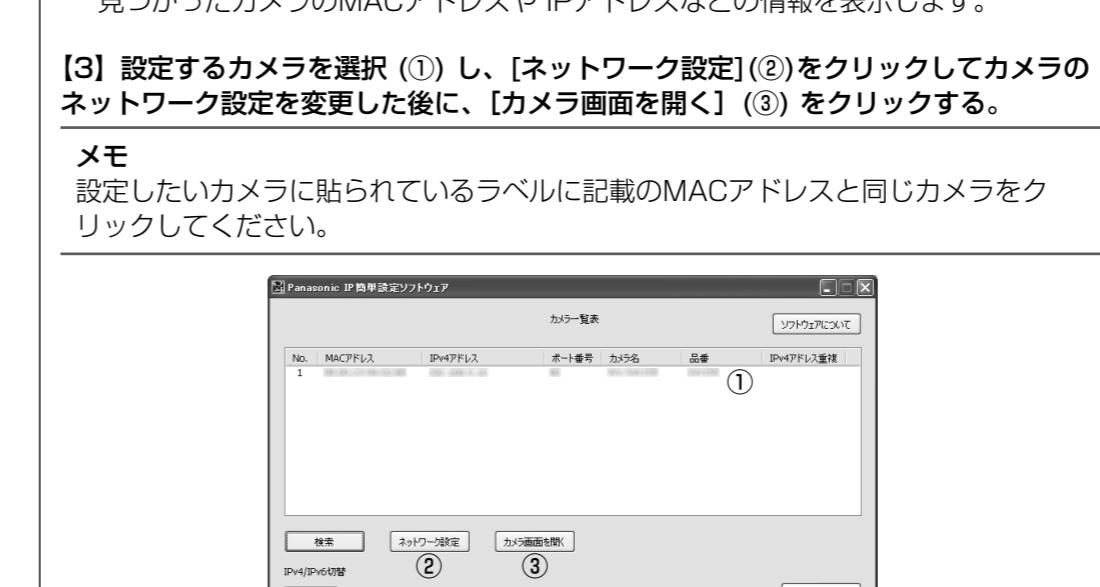
⇒ [Panasonic IP 簡単設定ソフトウェア] 画面が表示されます。

見つかったカメラのMACアドレスやIPアドレスなどの情報を表示します。

### [3] 設定するカメラを選択 (①) し、[ネットワーク設定] (②) をクリックしてカメラのネットワーク設定を変更した後に、[カメラ画面を開く] (③) をクリックする。

#### メモ

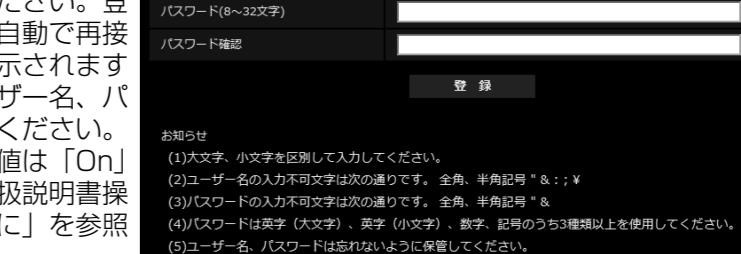
設定したいカメラに貼られているラベルに記載のMACアドレスと同じカメラをクリックしてください。



### 【4】管理者登録画面が表示されたら、画面に従って管理者のユーザー名、パスワード、登録ボタンをクリックする。

登録したユーザー名、パスワードは第三者の目に触れないよう大切に保管してください。登録完了後、カメラに自動で再接続し、認証画面が表示されますので、登録したユーザー名、パスワードを入力してください。

ユーザー認証の初期値は「On」です。詳しくは「取扱説明書操作・設定編：はじめに」を参照してください。



### [5] カメラのライブ映像が表示されたら、ネットワークの接続は完了です。

#### メモ

以下の内容の詳細については取扱説明書 操作・設定編を参照してください。

● カメラを使用する前に、設定メニューの [基本] ページで [日付時刻] の設定を行ってください。

● 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされていないPCでは、H.265 (またはH.264)、MJPEGの表示や音声の受話/送話、ログ表示、全画面表示を行えません。必要な場合はライブ画面の「プラグインソフトウェア」ボタンを押して